

幻想書人

飾りじゃないのよ字引は

私は開いたことがない
審査が始まった会場で
長い机に置いてあっても

「至得為道本」と書いてあっても開かなかった
机の字引が崩れるのを 不思議な気持ちで見てたけど
私「得」が違うと分からなかった

私は開いたことがない
審査の真ん中で
いろんな漢字が違っても
全て正字 入選させたり落選させたり

そして作品が変わるたび 字引が机に増えたけど
私字引が何をするものかわからないと感じていた

飾りじゃないのよ字引はHAHAN
誤字だと言ってるじゃないのHOHO
見方がわからないの審査員はHAHAHA
落選ならいいけど
ちょっと悲しすぎるのよ字引はHOHOHO
略

飾りじゃないのよ字引はHAHAN
誤字だと言ってるじゃないのHOHO
審査じゃないのよ審査はHAHAHA
落語ならいいけど
ちょっと悲しすぎるのよ字引はHOHOHO

飾りじゃないのよ字引はHAHAN
別人だと言ってるじゃないのHOHO
師匠じゃないのよ作品はHAHAHA
自分が書いたらいいけど
ちょっと悲しすぎるのよ字引はHOHOHO
LaLaLa……

「賞状誤字」

審査で書ける書けない。

(誤字 審査 ・ 正当 審査)



「五字句誤字最高賞」

審査委員わからず、翌年も同じ審査委員。

(誤字 至得 正当 至徳)

二年連続壇説指摘まで誤字審査員わからず。



「縦書き」

乱視だ、あかん、まがっている。



「雅号が違う書同じ」

誰が書いた作品を展覧会に、ありえへん。

企画運営委員、主催者は・・・爆笑



「新」

新しい「新」を見た。

ゝのときはね・・・字引だ。



9月30日 板橋煌陵